

平成 26 年 10 月 15 日

各 位

会 社 名 株式会社 鉄人化計画  
代表者名 代表取締役社長 堀 健一郎  
(証券コード 2404 東証マザーズ)  
問合せ先 執行役員管理本部長 国本 亮一  
(TEL 03 - 5726 - 8440)

平成 26 年 8 月期業績予想と実績との差異  
及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 26 年 10 月 15 日開催の取締役会において、平成 26 年 4 月 14 日に公表いたしました平成 26 年 8 月期の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。また、1 株当たり配当予想につきまして、下記のとおり修正することを決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

業績予想と実績との差異について

平成 26 年 8 月期通期連結業績予想と実績との差異(平成 25 年 9 月 1 日から平成 26 年 8 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	10,148	284	218	66	10.74
今回発表実績(B)	10,151	305	290	133	21.44
増 減 額(B-A)	2	20	71	66	
増 減 率(%)	0.0	7.2	32.7	99.6	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 8 月期)	10,000	346	293	42	6.77

平成 26 年 8 月期通期個別業績予想と実績との差異(平成 25 年 9 月 1 日から平成 26 年 8 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,053	264	47	7.67
今回発表実績(B)	9,000	365	97	15.74
増 減 額(B-A)	53	101	50	
増 減 率(%)	0.5	38.3	105.2	
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 8 月期)	8,893	456	179	28.97

差異の理由

主力事業であるカラオケルーム運営事業におきましては、大手チェーン店の積極的な出店に伴う競争激化が依然として続いていております。

当社といたしましては、これまでの積極的な出店政策からの転換(拡大路線からより収益性と効率性を重視した厳選出店)を行うと共に、オリジナル楽曲提供の拡充や大手レーベルとのコラボレーション企画などの営業強化を図ってまいりました。また、店舗原価や販管費の効率的な支出と管理強化を徹底し、厳しい経営環境に対応してまいりました。

その結果、営業利益、経常利益ともに予想を上回り、全体的な業績から店舗閉鎖等により生じた減損損失を吸収した結果、当期純利益も予想を上回りました。

## 配当予想の修正について

	1株当たり配当金		
	中 間	期 末	年 間
前 回 予 想		未 定	未 定
今回修正予想		4 円 50 銭	4 円 50 銭
当 期 実 績	0 円 00 銭		
前 期 実 績 (平成 25 年 8 月期)	7 円 50 銭	7 円 50 銭	15 円 00 銭

(注) 当社は、平成 25 年 6 月 18 日付で普通株式 1 株につき 200 株の割合をもって株式分割を実施いたしました。前期実績(平成 25 年 8 月期中間期)の 1 株当たりの配当金につきましては、当該株式分割後の金額を記載しております。

### 修正の理由

当社は、株主の皆様への利益還元を経営上の重要課題の一つとして考えており、中長期的な連結配当性向 20%を目処として、業績や財務状況等を勘案しながら継続的に配当を行いたいと考えております。

当期の実績におきましては業績予想を上回る結果となりました。しかしながら当社を取り巻く経営環境は依然として厳しく、予断を許さない状況にあります。

当社といたしましては、今後の利益成長のための投資資金の確保と財務体質の改善が急務であるとの認識から通期の期末配当予想を未定と発表しておりましたが、当社の基本方針に基づき当期の実績と今後の業績見通し等を勘案いたしました結果、平成 26 年 8 月期の期末配当予想を、1 株当たり 4 円 50 銭と修正させていただきたいと存じます。

以 上